



学校だより

6月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～
横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123 FAX 331-5343

感動から始まる学びを深めて

副校長 西山 久美子

入学式と始業式での出会いの翌日から、2か月の一斉臨時休校というこれまでに経験したことのない状況が続きました。長い休校にあたり保護者の皆様にはご不安ご心配もおありだったことと思いますが、ご家庭での健康管理を始め、休校へのご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。この2か月、職員一同、何よりも子ども達の無事を願いながら、今できることに全力を注ぎ再開を待っておりました。しばらくは、分散登校など、変則的な形での再開となりますが、感染防止、児童の安全を最優先に、一歩ずつ進めていきたいと思っております。

さて今回、当たり前前の日々が大きく制限され、これまでの生活がいかに尊いものだったか、友達と一緒に語り合うことがいかに貴重な時間だったのか、だれもが皆、自分の中の「当たり前」の大切さに気付いたのではないのでしょうか。学校でも、朝子どもたちが元気に「おはようございます」と門を入ってくる、休み時間には校庭を思いきり走り回ること、友達と教え合いながら課題に取り組むこと、こんな当たり前前日常がどんなに素晴らしいことだったのかを再認識しています。きっと、子どもたちもたくさんの我慢をしながら、様々な思いをもって過ごしてきたことと思っております。まずは、「よくがんばったね。」と子どもたちを大いにほめてあげたいと思っております。そして、こんなことをがんばりたい、こんなことに取り組みたいという一人ひとりの思いに丁寧に寄り添いながら、充実した学校生活になるよう努めてまいります。

先日、学校に来ていた児童が、校庭の石を集めながら色や形の違いを発見し、きれいな色に驚いたり石のネーミングを考えたりしていました。子どもの発想の豊かさに感心するとともに、一つの石から子どもなりの視点で学びが発生することに改めて気付かされました。また、別の日には校庭の池で生き物をじっくり観察する子、水の流れの変化をおもしろがる子など、楽しみながら自分だけの課題を見つけていました。自分の心が動かされたときこそ、学びの意欲は高まるものです。学校では、「不思議だな。」「おもしろそうだな。」と思えるような新しい学習との出会いを大切に、それと同時に「わかった。」「もっと知りたいな。」と次につながるような学びを積み重ねていきます。新しいことに会う感動、出来なかったことが出来るようになった感動、さらには誰かのために自分の力を発揮できたときの感動、それらの感動こそが、成長の第一歩。「出会いは人を変え、感動は人を育てる」の言葉のように、たくさんの感動と出会うことを大切に、子どもたちの学びを深めていけるように支えていきます。こんな時だからこそ、身の回りのちょっとした変化にアンテナを張り、子どもとともに感動する日々を作りたいと思っております。

今日から学校が再開いたしました。休校中に体験した心の動きと、これから出会うたくさんの感動とが、子どもたちをさらに大きく成長させることと信じ、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、子どもたちのために一丸となって努力していきたいと思っております。今後ともよろしく願い申し上げます。